

令和元年度事業活動報告書

当 NPO は、平成 21 年設立以来、以下に要約する政策提言、自主研究、受託研究、セミナー・講演の活動を行ってきた。

政策提言	宇宙基本計画に係る提言（内閣官房宇宙開発戦略本部事務局） 安全保障のための宇宙利用推進（自民党宇宙総合戦略小委員会） 安全保障のための MDA（自民党、内閣府、国家安全保障局、防衛省） 安全保障に係る海洋状況把握（内閣府、国家安全保障局、防衛省） 安全保障に係る宇宙からの MDA（防衛省）
自主研究	デュアルユースの研究（平成 21 年） 海洋監視衛星システムの研究（平成 21－23 年） 射場システムの研究（平成 27－28 年） 安全保障衛星と MDA の研究（平成 28－29 年） 地球観測・監視プログラムの推進体制（平成 29－30 年）
受託研究	ALOS-1 が撮像した船舶画像の解析（経済産業省、平成 23－26 年） 海洋への衛星利用の研究（海洋政策研究財団、平成 24－25 年） リモセン法基礎調査支援（内閣府宇宙戦略室、平成 27 年） 射場課題の体系的整理（同上、平成 27－28 年） 安全保障に係る宇宙からの MDA に関する調査（防衛装備庁、令和 2 年）
セミナー	海洋と宇宙の連携セミナー（平成 26－28 年）5 回

※組織名称は、当時のもの

令和元年度に実施した主な事業の概要は次のとおりである。

1 受託研究

防衛省装備庁による「安全保障に係る宇宙からの MDA に関する調査」を受託し、調査・研究を実施、報告書を納入した。

作業経緯は、以下のとおりである。

- ① 公告日 令和元年 11 月 12 日
- ② 提案書提出 令和元年 12 月 16 日
- ③ 入札、開示 令和 2 年 1 月 28 日
- ④ 関係会社からの聞き取り 住友商事 令和 2 年 2 月 14 日

三菱電機 令和2年3月2日

Synspective 令和2年3月9日

- ⑤ 有識者からの聞き取り
 - ・ 杉本正彦氏（元海上幕僚長） 令和2年2月26日
 - ・ 村川豊氏（前海上幕僚長） 令和2年2月26日
 - ・ 河野克俊氏（前統合幕僚長） 令和2年2月27日
- ⑥ 防衛装備庁最終報告会 令和2年3月24日
- ⑦ 成果納入 令和2年3月25日

2 政策提言活動

「安全保障に係る宇宙からのMDA」について、以下の提言先に提言を実施した。

なお、提言の内容については、第1項の成果内容のうち、防衛装備庁と調整のうえ開示できるものとした。

- ・ 高橋憲一 防衛事務次官 令和2年7月2日
- ・ 山村浩 海上幕僚長 令和2年7月16日
- ・ 出口佳努 海上幕僚副長 同上

3 シンポジウムの開催について

「安全保障と宇宙利用」というテーマで、シンポジウムを計画、準備中である。コロナ対策により会場の人数を制限し、WEBを併用する予定である。

概要は、以下のとおりである。

- ① 日時 令和2年10月26日（月）1400-1700
- ② 場所 日本倶楽部（千代田区丸の内3-1-1 国際ビル8F）
- ③ テーマ：「安全保障と宇宙利用」
- ④ 講演者：
 - 防衛省防衛政策局戦略企画課 保坂益貴氏
 - 防衛省防衛装備庁技術戦略課 藤森英俊氏
 - CO-JASPA 上席研究員 畑中裕生
 - 会員企業 三菱電機 防衛・システム事業部長 洗井昌彦氏
 - 住友商事 航空宇宙事業部 部長付 小川浩志氏
- ⑤ 聴講者：防衛省現役関係者、CO-JASPA 会員
CO-JASPA 元会員企業、その他 約50名
- ⑥ 実施方式：会議場所及びWEBにより実施

4 会員の勧誘活動

個人会員及び団体会員の勧誘を積極的に行い、新規会員を獲得できた。
令和2年10月1日現在の会員状況は別紙のとおりである。